

平成26年度

学校・家庭・地域の連携による

教育支援活動

～ 実践事例集 ～



北海道教育委員会

平成27年3月

【表紙写真：（左）網走市学校支援地域本部、（右）帯広市立花園小学校】

はじめに

北海道教育委員会では、子どもたちの安全・安心な居場所づくりや、地域と一体となった学校支援活動の推進を図るため、放課後子供教室や学校支援地域本部を「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」として総合的に推進しております。

また、今年度からは、全ての子どもたちの土曜日の教育活動を充実させるため、体系的・継続的な教育プログラムを企画・実施する市町村の取組を支援しており、各市町村においては、地域住民等が子どもたちの学習や体験活動、子育てを支援する取組に積極的に参画するなど、地域の実情に応じた様々な教育支援活動が展開されているところです。

このたび、こうした取組の一層の充実を図るため、平成26年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞した地域や学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業ですぐれた実践を行っている市町村の事例、土曜日の教育活動の事例など、道内各地で先駆的に取り組まれている活動事例を紹介し、今後の活動の充実・発展のための参考としていただけるよう、本事例集を作成しました。

ついでには、本事例集を御活用いただき、今後の各地域における、学校・家庭・地域の連携による教育支援活動及び土曜日の教育活動等の更なる推進と、一層の活動内容の充実が図られることを願っております。

末筆ですが、本事例集の作成にあたりまして、関係市町村教育委員会の皆様方の多大な御協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

平成27年3月

北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課  
子ども地域支援担当課長 阿部 武仁

# ～ 目 次 ～

## 1、平成26年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰受賞活動

①オホーツク管内・網走市（学校支援地域本部事業）	P 1
②十勝管内・帯広市立つつじが丘小学校（学校支援地域本部事業）	P 2
③十勝管内・帯広市立花園小学校（学校支援地域本部事業）	P 3

## 2、北海道学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業推進委員会が現地調査視察した活動

①空知管内・栗山町（学校支援地域本部事業）	P 4
②石狩管内・石狩市（放課後子供教室推進事業）	P 5
③檜山管内・厚沢部町（放課後子供教室推進事業）	P 6
④上川管内・上富良野町（放課後子供教室推進事業）	P 7
⑤オホーツク管内・小清水町（放課後子供教室推進事業）	P 8
⑥十勝管内・清水町（放課後子供教室推進事業）	P 9
⑦檜山管内・今金町（土曜学習）	P 10
⑧オホーツク管内・訓子府町（土曜学習）	P 11

## 3、土曜学習の実践事例

①胆振管内・洞爺湖町	P 12
②上川管内・士別市	P 13
③宗谷管内・枝幸町	P 14

## こんな 活動です

市内に本部は1つ！延べ約5千人の  
地域住民が全ての学校を支援しています！

### ◎学校支援地域本部

オホーツク管内 網走市

網走市では、市内全ての小・中学校及び特別支援学校を対象に、コーディネーターが中心となり、地域住民を活用した学校支援を展開している。

活動名	網走市学校支援地域本部事業		
関係する学校	市内全て小・中学校及び特別支援学校（16校）		
開始年度	平成20年度	国の補助	有



## 活動内容・特色

### ●活動の概要

元々、学校区毎に独自に行われていた地域による学校支援の取組を、平成20年度から網走市内で1つの実行委員会と本部を組織し、11校を対象に始めた。この取組は現在、5年を経過し、市内全ての小・中学校及び特別支援学校（計16校）で行われている。活動内容としては、学習支援や授業補助などの学校支援活動や部活動指導、環境整備、登下校の安全見守りなど多岐に及んでいる。



### ●特徴的な活動内容

雪国らしく、冬は体育でスキーやスケート授業の指導補助が行われている。夏の体育はラグビーやよさこい（おどり）の指導補助があり、専門的かつ安全に授業が行われている。総合的な学習の時間や道徳の時間などでは、昔遊び・読み聞かせ・人形劇・書き初め指導・茶道教室・地域の昔話など、地域の大人の知識や経験を生かした支援が行われている。

### 実施にあたっての工夫

コーディネーターは、学校と地域のことをよく理解している退職校長が担っており、学校と地域の調整が円滑に行われ、良好な関係で取組が推進されている。

## 事業の成果

- 実技教科で少人数学習が可能になり、密度の濃い指導により子どもの意欲喚起を図ることができた。
- 地域との交流が子どもの学習意欲向上につながっており、地域の力をより積極的に活用しようとする教職員が増えてきている。
- 登録する地域の人材が当初「個人54名・12団体」から「個人271名・15団体」に増加した。

## こな 活動です

学校と地域・ボランティアが情報交換をしながら子どもたちの見守りをしている

### ◎学校支援地域本部

### 十勝管内 帯広市

帯広市第二学校支援地域本部つつじが丘小学校では、学校創立時から地域と連携した取組を続け、改善を加えながら充実した取組を継続している。

活動名	帯広第二学校支援地域本部つつじが丘小学校		
関係する学校	帯広市立つつじが丘小学校		
開始年度	平成17年度	国の補助	有



## 活動内容・特色

### ● 活動の概要

平成11年に学校創立。開かれた学校づくりを目指し、地域と連携した組織「つつじの会」を設立。平成21年、学校支援地域本部ができ、コーディネーターが置かれた。

現在は、学校支援だけではなく、「放課後の子どもの居場所づくり」「土曜日の子どもの居場所づくり」に加え、長期休業中の補充学習なども行っている。また、図書ボランティアや親父倶楽部など、ボランティアスタッフも充実している。

### ● 特徴的な活動内容

- ・環境整備・花の苗植え指導
- ・ラッキーサマースクール、ラッキーウィンタースクール  
～長期休業中の3日間、希望者を対象に補充的な学習支援と体験的な活動を実施。
- ・水泳ボランティア・スケートボランティア  
～全学年においてボランティアを活用。



### 実施にあたっての工夫

コーディネーターの役割分担や担当などを明確化している。

また、年度ごとに反省し、活動が充実するよう組織を改善してきた。

## 事業の成果

- 子どもたちが地域の人たちとあいさつをかわす場面が多く見られるようになっており、子どもたちと地域の結びつきが深まっている。
- 地域の人たちから「授業では教わらない多くのこと」を学ぶことで、子どもたちの学習意欲の向上が図られている。

# こんな 活動です

無理なく、楽しく、地域みんなが幸せになれるサポート活動を実施

## ◎学校支援地域本部

## 十勝管内 帯広市

帯広第四学校支援地域本部花園小ネットワーク委員会では、ネットワーク会議を通じて学校と地域が密接に連携し、地域の人材や教育力を生かした地域参加型の活動を展開している。

活動名	帯広第四学校支援地域本部 花園小ネットワーク委員会		
関係する学校	帯広市立花園小学校		
開始年度	平成19年度	国の補助	有



## 活動内容・特色

### ●活動の概要

平成19年に文部科学省のモデル校となったことを受け、多様な教育支援活動の推進を担う基盤として本委員会を設立した。

本委員会は、ボランティア、PTA、教職員によって構成されており、学習活動の趣旨を踏まえた支援の調整を総合的に行っている。

### ●特徴的な活動内容

- 地域に在住する消防関係者等をボランティアとして、本格的な消火訓練を行ったり、防災に関する講話をしたりするなど、地域参加型の事業を展開している。
- 学校と地域が密接に連携し、学校及び学校周辺の環境整備のための行事を毎年5回程度実施している。
- 学校の教育活動を支えボランティアへ感謝の意を伝える機会として毎年1回「感謝のつどい」を実施し、コーディネーターをはじめ多くのボランティアと交流する場を設けている。



### 実施にあたっての工夫

学校、地域、PTA役員が集まったの会議を開催することで、学校の要望や保護者、地域の意見等を幅広く意見交流できる機会としている。

地域の町内会にボランティア活動等の情報を積極的に広報することにより、活動の理解や協力を得ている。

## 事業の成果

- 多くの地域住民から、「子どもたちと接することで、とても楽しく充実した時間を過ごすことができた」と評価されている。
- 子どもたちが地域の方々と接することで、積極的に挨拶できるようになっており、子どもたちのコミュニケーション能力の向上が図られている。

## こんな 活動です

学校支援地域本部の仕組みを生かした、土曜授業の推進

### ◎学校支援地域本部

空知管内 栗山町

栗山町では、学校支援地域本部を母体とした「土曜日教育活動地域委員会」を設置し、土曜授業を推進している。

活動名	地域と共にある学校づくり (栗山町地域教育協議会)		
関係する学校	栗山町内全小・中学校 (小3校、中1校)		
開始年度	平成21年度	国の補助	有



## 活動内容・特色

### ●活動の概要

栗山町では、平成21年度から国の事業を活用して地域本部(栗山町地域教育協議会)を設置し、町内全小・中学校を支援している。

平成26年度から栗山町立継立小学校と角田小学校では、土曜日教育活動地域委員会(保護者4名、地域住民4名、学校関係者4名)として、土曜授業のプログラムの作成及び体験活動の機会の提供を行っている。

### ●特徴的な活動内容

「地域の伝統・文化・産業を体験的に学ぶ」ことを活動の柱にしており、体験(見学)活動では「道路整備、牧場・養鶏場・農場、消防団」などと連携している。

また、うどんやアイスクリーム作りなどを通して、地域の方を講師にふるさとの産業や文化を学ぶ機会を提供している。



### 実施にあたっての工夫

狭い地域であるが、多様な方を講師に招くことで、似たようなプログラムの繰り返しとならないよう工夫している。今後は、この取組を学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の設置へ移行させる予定。

## 事業の成果

- 身近なものについて詳しく学習することで、子どもたちの学習に対する興味や関心が増し、日常の学習意欲向上にもつながっている。
- 地域の協力を得ることで住民の学校への関心が強くなっており、学校にかかわってくれる家庭教育サポート企業等の数が増えている。



# こんな 地域のNPO法人と連携した、一体活動です 型の放課後子供教室

## ◎放課後子供教室

石狩管内 石狩市

石狩市では、市子育て支援課とNPO法人が連携し、放課後子供教室と放課後児童クラブを一体的に運営している。

活動名	石狩市放課後子供教室		
関係する学校	石狩市立八幡小学校		
開始年度	平成19年度	国の補助	有



## 活動内容・特色

### ●活動の概要

事業運営はNPO法人に委託し、コーディネーターは市教育委員会に配置、指導員は地元の方をお願いするなど、民間と地域と行政が協働で事業を推進している。

年間約290日の活動に加え、月1～2回のペースで行事を計画している。

### ●特徴的な活動内容

- ・文化活動（行燈づくり）
  - ・地域での活動（近隣公園のゴミ拾い）
  - ・地域との交流活動（ミニまつりの開催）
  - ・遊びの提供（シャボン玉遊び、紙飛行機大会）
- その他、体力づくりのための体力測定週間、地域の高校による科学教室、障がい者協会による手話講座などを実施。



### 実施にあたっての工夫

地域の青年会議所や団体、高校と連携し協力を得ることで、市が推進している「俳句・行燈・手話」といった活動を積極的にプログラムに取り入れている。

## 事業の成果

- 放課後子供教室と放課後児童クラブを一体型で運営することにより、放課後も校舎内から移動することなく活動でき、子どもたちに安心して過ごせる場所を提供できている。
- 多様なプログラムの中で、異学年や地域との交流を通じ、様々な経験を提供することが可能となり、子どもたちの社会性が育っている。

# こんな 地域住民の参画による、一体型の放 活動です 課後子供教室

## ◎放課後子供教室

檜山管内 厚沢部町

厚沢部町では、地域住民の積極的な参画により、学校を活動場所として放課後子供教室と放課後児童クラブを一体的に運営している。

活動名	館小学校放課後なかよし子ども教室		
関係する学校	厚沢部町立館小学校		
開始年度	平成22年度	国の補助	有



## 活動内容・特色

### ●活動の概要

運営協議会（小学校長、父母会代表2名、コーディネーター、安全管理員、町保健福祉課長）を設置し、放課後児童クラブと一体的に運営している。16時までは放課後子供教室、その後、放課後児童クラブとして開設している。

活動場所は、学校の空き教室を基本に、体育館や校庭などプログラムに応じて幅広く活用している。



### ●特徴的な活動内容

体験活動は放課後子供教室として行い、放課後児童クラブは預かりのみとし、2つの機能を使い分けている。活動は、ドッジボール、バドミントン、宿題や学習支援のほか、地域の方を講師として招き、囲碁教室、自然観察会など多様なプログラムを展開している。

### 実施にあたっての工夫

館地区以外の方々からも様々な協力をしていただき、体験活動の内容も充実を図ることで、裾野の広い放課後の居場所づくりを進めている。

## 事業の成果

- コーディネーターが人脈を生かして地域住民に働きかけを行った結果、地域住民が積極的に事業に協力するようになっていく。
- 多くの方々の協力をいただくことで、子どもたちに多様な体験活動を提供できるようになった。

# こんな 学校との連携により、有効的に施設を活用した放課後子供教室 活動です

## ◎放課後子供教室

上川管内 上富良野町

上富良野町では、学校との連携により、専用室の活用に加え、余裕教室等も有効的に活用した、放課後児童クラブとの一体型の放課後子供教室を実施している。

活動名	上小放課後スクール		
関係する学校	上富良野町立上富良野小学校		
開始年度	平成19年度	国の補助	有



## 活動内容・特色

### ●活動の概要

平成19年度の「放課後子どもプラン」開始時から放課後子供教室と放課後児童クラブを一体型で実施している。年2～3回の運営委員会に加え、放課後子どもプラン事業指導員等会議を定期的実施するとともに、年4～5回の指導者研修会を実施している。活動は、スポーツや創作活動のほか、DVDの視聴や学習、遊びなどを実施している。



### ●特徴的な活動内容

改修後の上富良野小学校における活動環境は、児童玄関のすぐ近くにガラス張りの専用ルームが配置され、教職員も活動が見やすい状況となるように配慮されている。そのため、指導員と教職員間の顔が見え、児童の情報交換等での連携が図られている。専用ルームのほか、体育館やグラウンドなどの施設も活用し、活動を充実させている。

### 実施にあたっての工夫

放課後子供教室にも特別な支援を要する子どもが参加しており、町独自の予算で特別支援指導員を配置している。

## 事業の成果

- 放課後の子どもの安全な活動場所の提供と異学年児童の交流を図るとともに、地域住民のボランティアによる支援により、多世代での交流と子どもたちの健全な育成を図ることができている。
- 共働きや女性の社会進出の進展などにより、保護者からのニーズが高いことから、放課後における留守家庭児童の安全な居場所づくりと子育て支援の両面から、放課後子供教室と放課後児童クラブの一体的な運営が有効となっている。

# こんな 学校内の専用室を活用した一体型の 活動です 放課後子供教室

## ◎放課後子供教室

オホーツク管内 小清水町

小清水町では、小学校の新築にあわせ体育館に児童クラブ室を設置し、放課後子供教室と放課後児童クラブを一体的に実施している。

活動名	小清水町放課後子供教室		
関係する学校	小清水町立小清水小学校		
開始年度	平成24年度	国の補助	有



## 活動内容・特色

### ●活動の概要

- ・放課後子供教室は年間約200日開所、1日平均83名の利用がある。放課後児童クラブは年間約290日開所、1日平均40名の利用がある。
- ・放課後子供教室はコーディネーター（町職員）1名と教育活動推進員5名。放課後児童クラブは、主任1名、児童指導員3名で運営している。



### ●特徴的な活動内容

自由活動や宿題のサポートの他、月別の製作活動（折り紙、貼り絵、紙飛行機等）、野鳥観察会、ピアノコンサート等の事業、地域の各種団体と連携したクラブ活動（テニス、剣道、茶道、百人一首、和太鼓※週1回～月1回）を実施している。

### 実施にあたっての工夫

活動プログラムに異年齢での集団遊びを取り入れることにより、関わりが苦手な児童にも、集団で遊ぶ楽しさを伝えている。

## 事業の成果

- 放課後子供教室への登録児童数が増えており、放課後の子どもの安全な居場所としての高いニーズに応えることができている。
- 学校で実施しているため、教員が子どもたちの様子を見に来るなど、学校との連携が十分図られており、学校生活にもよい影響を与えている。

## こんな 活動です

余裕教室や体育館等を有効に活用した、一体型の放課後子供教室を実施

### ◎放課後子供教室

十勝管内 清水町

清水町では、清水小学校の余裕教室を改修し、専用の玄関を設置するなどして、一体型の放課後子供教室と放課後児童クラブを実施している。

活動名	清水町放課後子ども教室		
関係する学校	清水町立清水小学校		
開始年度	平成22年度	国の補助	有



## 活動内容・特色

### ●活動の概要

平成22年度から、小学校の余裕教室を活用して放課後子供教室と放課後児童クラブの一体型の運営を実施しており、平成25年度からは両事業の所管を町子育て支援課に一本化している。放課後子供教室は平日のみの開設、放課後児童クラブは年間約290日実施している。



### ●特徴的な活動内容

子どもたちの自主性や社会性を養うことを目的として、放課後に学年の異なる子ども同士の遊びを通じた交流を行っている。

放課後児童クラブの児童とともに、放課後子供教室指導員等が、仲間遊び、学習活動、読書活動、ビデオ鑑賞、昔遊び、ボードゲーム、運動遊び、レクリエーションなどを提供している。

### 実施にあたっての工夫

平成25年度から、放課後児童クラブについても6年生まで受け入れることとしたため、利用者が増加している。そのため、余裕教室4つのほか、体育館等も活用している。

## 事業の成果

- 学校の余裕教室を利用しているため、子どもたちの情報共有など、教職員と密接な連携が図られている。
- 両事業の所管を町子育て支援課に一本化することで、保護者のニーズに応じた効率的な事業運営が可能となっている。

# こんな活動です 社会教育団体が子どもたちの居場所づくりを担う継続的な土曜日学習プログラム

## ◎土曜学習

## 檜山管内

## 今金町

今金町では、これまで実施していた既存の事業を再編し、町の体育、文化関係団体と連携した、継続的な土曜学習を実施している。

活動名	今金わくわくカレッジ“イマカレ”		
関係する学校	今金町立今金小学校、種川小学校、		
開始年度	平成26年度	国の補助	有



## 活動内容・特色

### ●活動の概要

社会教育関係職員がコーディネーターを担い、町の体育、文化関係団体をはじめ、図書ボランティアなど多くの団体と連携し、年14回のプログラムを展開している。

### ●特徴的な活動内容

既存事業に新規事業を組み込み、年間事業をわかりやすくパッケージ化した。スポーツ活動から文化活動、自然体験など幅広いメニューを提供している。

- ・英会話体験教室
- ・子ども文化教室
- ・自然体験（カヌー川下り・雪遊び）
- ・読書体験（ビブリオバトル）
- ・アイヌ文化体験（ムックリ作成・演奏）
- ・こどもかるた交流会
- ・歩くスキー大会 など



### 実施にあたっての工夫

地域の各種団体と連携することで幅広いプログラムを提供している。また、児童が今金わくわくカレッジに5回以上参加すると図書カードを贈呈し励みにしている。

## 事業の成果

- これまでの事業を再編して年間プログラムを示すことにより、それぞれの事業が「土曜学習」としてつながり、参加者が増加するなど、事業効果が高まった。
- 指導に当たる地域住民にとっても学んだ成果を発揮する場となっており、地域の活性化にもつながっている。

# こんな 活動です

## 地域の特性を活かした土曜学習の 取組

### ◎土曜学習

### オホーツク管内

### 訓子府町

訓子府町では、これまで放課後・週末に行ってきた事業を土曜日の教育活動として位置づけ、様々な体験活動プログラムを行っている。

活動名	訓子府町「竹の子クラブ」		
関係する学校	訓子府町立訓子府小学校・訓子府町立居武士小学校		
開始年度	平成26年度	国の補助	有



## 活動内容・特色

### ●活動の概要

基本的には月1回土曜日の午前中に実施しており、町教育委員会社会教育課職員が事業運営の企画等を行っている。

講師については、児童クラブの指導員や町内の各種社会教育団体（文化やスポーツ）のほか、地元の学校教員や栄養士など、プログラムに応じて依頼している。

### ●特徴的な活動内容

活動については、①自然体験、②生活体験、③地域の教育力を生かした活動、④異年齢集団活動を中心に行っている。

- ・くねっぴ歴史館での郷土学習
- ・川釣り体験 ・科学実験遊び
- ・調理実習 ・伝承遊び
- ・タグラグビー体験 など



### 実施にあたっての工夫

地域の特性を生かし、訓子府町だからできること、オホーツクならではの活動を行っている。また、小学校在学中の6年間の中で、一度は体験させたい事業を6パターン化して進めていくことを検討している。

## 事業の成果

○土曜学習として各種体験プログラムを異年齢集団で行っており、子どもたちのコミュニケーション能力が高まった。

○地域の様々な資源を活用することで、事業に関わっている地域住民にとっても活躍の場となり、地域の活性化につながっている。

# こんな活動です

## 大学と連携した土曜学習の充実

### ◎土曜学習

### 胆振管内

### 洞爺湖町

子どもたちの学習内容に対する興味・関心を高めるため、年間3回（11回中）、大学生と触れあう機会を設けている。

活動名	とうや湖GENKIDS		
関係する学校	洞爺湖町内全小・中学校		
開始年度	平成26年度	国の補助	有



## 活動内容・特色

### ●活動の概要

子どもたちが地域の自然や文化に触れ、身近にある環境課題に気付くきっかけづくりとして、酪農学園大学が洞爺湖町で毎年実施している調査研究活動と連携して、洞爺湖周辺を主なフィールドとした自然体験学習を実施している。

#### 【主な活動】

- 特定外来種ウチダザリガニの駆除活動
- エソシカの生態や農業被害の調査活動 など

### ●特徴的な活動内容

水中カメラによる湖底のライブ映像を使い、繁殖するウチダザリガニの実態を観察するなど、子どもたちに「生きた教材」に触れさせることで、自分たちの住む洞爺湖町の環境問題を考えるきっかけとなる活動を行っている。



### 実施にあたっての工夫

大学とプログラム作成の段階から事業の趣旨や参加する児童生徒についての情報交換を行い、事業当日は大学生が中心となって指導を行うことができるよう、明確な役割分担を行っている。

## 事業の成果

- 体験の中で感じたことや、考えたことなどを、大学生に対して発表する体験を通して、子どもたちの「論理的に考える力」や、「コミュニケーション能力」の向上が図られている。
- 地域の多くの大人や、専門的な立場にある関係者と学ぶ経験を通して、子どもたちの社会性が培われた。



# こんな 企業と連携した社会を生き抜く力を 活動です 培う土曜日ならではのプログラム

## ◎土曜学習

## 上川管内

## 士別市

士別市では、子どもたちの文化活動の体験機会の減少への対応や、市内建設業等から子ども対象の体験教室の開催要望を受けたことから、土曜日を活用した継続的な事業を今年度から実施している。

活動名	しべつ土曜子ども文化村		
関係する学校	士別市立士別小学校等		
開始年度	平成26年度	国の補助	有



## 活動内容・特色

### ●活動の概要

小学校4～6年生を対象に、年間10回程度の事業を実施している。参加者は登録制で定員30名。内容は、地域人材と連携した文化活動と地域企業と連携した職業体験を行っている。



### ●特徴的な活動内容

文化活動は、絵画教室や工作教室など地域人材を講師として実施している。

職業体験では、建設協会と連携し実際の工事現場で重機に触れる体験や、銀行と連携し金融機関の仕事を体験するといったプログラムを展開している。

### 実施にあたっての工夫

企業との連携の手法として、市内の「北海道家庭教育サポート企業等制度」登録企業（士別市は54社）を活用している。今後は、市内登録企業のネットワーク化も検討している。

## 事業の成果

- 職業体験を行うことにより、身近な企業の魅力や苦勞などを知るとともに、職業や社会に対する興味や関心を高めることができた。
- 土曜日に学習機会を設定することで、これまで社会教育事業等に協力が難しかった現役の会社員の方に、子どもの体験事業の講師として参画してもらうことができた。

# こんな NPO 法人との協働による、多様な活動です プログラムの実施

## ◎土曜学習

## 宗谷管内

## 枝幸町

枝幸町では、子どもの体力向上を図るスポーツ指導を中心に、NPO 法人の協力を得て、地域の人材を活用した多様な活動プログラムを展開している。

活動名	枝幸町土曜日活用事業		
関係する学校	枝幸町立枝幸小学校		
開始年度	平成26年度	国の補助	有



## 活動内容・特色

### ●活動の概要

総合型地域スポーツクラブを運営するNPO法人にコーディネーターを配置し、事業の企画、運営、評価を行政とNPO法人が協働で行っている。

NPO法人から専門的な技能を有した職員が、年間10回程度、基礎体力の向上を目指したコーディネーショントレーニングを取り入れたスポーツやレクリエーションを実施している。

また、土曜学習を住民の生涯学習の成果を活用できる場の一つとして捉え、住民が講師や指導の補助者として参画できる仕組みを構築している。

### ●特徴的な活動内容

ONPO 法人によるプログラム

- ・コーディネーショントレーニング
- 住民の指導による多様なプログラム
- ・ハンブ編みストラップ作り…保護者
- ・パステルアート教室…保護者

- ・スイーツ講座…栄養士
- ・工作教室…工務店職員



### 実施にあたっての工夫

本町は長年スキー指導に力を入れており、冬＝スキーという概念が定着している。本事業を通じて、スキー以外の多様な運動プログラムに触れる機会を確保し、運動の幅を広げている。

## 事業の成果

○地域の人材を講師としたことにより、地域住民と子どもたちとの関わりが一層深まり、地域全体で子どもたちを育むという環境づくりにつながった。

○学校関係者から、子どもの体力向上に変化が見られたという声が聞かれた。また、NPOとの協働により、新しいプログラムが導入されたことにより、子どもの興味・関心が高まり、参加者が増えた。

## 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動実践事例集

---

発行 平成27年3月  
北海道教育委員会

問い合わせ先 〒060-8544  
札幌市中央区北3条西7丁目  
生涯学習推進局生涯学習課  
(子ども地域支援グループ)  
TEL 011-204-5753  
FAX 011-232-2236  
E-mail kyoiku.tiikisien1@pref.hokkaido.lg.jp

---

【裏表紙写真：帯広市立つつじが丘小学校】



平成26年度  
学校・家庭・地域の連携による  
教育支援活動  
～実践事例集～